

ボッチャ体験学習

(令和2年1月31日)

東京オリンピック・パラリンピックに向け、機運醸成を図り、また、障がい者への理解を深め、共生社会の実現に寄与することを目的に、「ユニバーサルスポーツいちほらクラブ 全国障害者スポーツ大会千葉県選手団身体総監督」の門脇倭雄さんと、ボッチャ オープンクラスの選手である小松輝昭さんをお招きし、津富浦小学校においてパラリンピック競技であるボッチャの体験学習を開催しました。

まず、門脇さんよりボッチャに関する説明があり、その後小松さんと校長先生たちとの対戦形式によるデモンストレーションを行った後、児童たちに実際にボッチャを体験してもらいました。

対象は4～6年生46名で、8つのチームに分かれ、試合形式でボッチャを体験しました。

障がいの有無に関わらず、老若男女誰でもできる競技であることから児童たちはすぐにコツを覚え、さらにコートを4面作り、各コートの勝者が準決勝、決勝と勝ち上がる試合形式であったことから各コート大変な盛り上がりを見せました。

体験後、質疑応答コーナーでは、細かいルールや小松さんの練習時間、競技生活を送るうえで困ったことなど、子供たちから様々な質問が飛び出し、パラリンピック競技に興味を持つことができた非常に有意義な体験教室となりました。













